

(1) 基本理念・将来像の設定

◆基本理念

（まちづくりを進める上での基本となる考え方）

●人と人をつなぐまちづくり【元気な人】

子どもから高齢者まで世代を超えて、市民と市民、市民と行政が一緒になって、地域の課題解決に取り組む総働※1・共創※2のまちを目指します。

●地域と地域をつなぐまちづくり【活力あるまち】

地域特性に磨きをかけ、更なる魅力や個性が光る地域づくりに取り組み、地域間の交流と連携を活発にすることで、一つの米原市として大きく輝くまちを目指します。

●過去・現在・未来（とき）をつなぐまちづくり【愛着ある風土】

豊かな自然環境と長い歴史の中で培われてきた、地域の多彩な魅力や個性を守り生かしながら次世代に引き継ぐとともに、市民が風土に愛着を持ち、将来にわたって「住み続けたい」と思えるまちを目指します。

※1：総働

多様な主体による協働

※2：共創

分野の異なる人々の特性を生かして、連携して創造すること

◆将来像

（基本理念を踏まえ、10年後に目指す米原市の姿）

ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市

第2次総合計画では、人口が減少する現実をただ受け入れるのではなく、米原市ならではの暮らしの豊かさを更に高め、持続するまちとしての未来を創生していくことが求められています。このため、人と人、地域と地域がつながりながら、全ての市民が互いを認め合い、支え合い、人のぬくもりを感じ、いつまでも自分らしくいきいきと暮らしていくことができる、豊かな地域社会の創生を目指します。

また、先人から受け継いだ美しい自然、輝かしい歴史や特色ある文化を守り育てるとともに、市民と行政とが情報と目標を共有し、互いの役割と責任を自覚しながら、協働してまちづくりを推進することで、市民一人ひとりが米原市民であることに誇りを持ち、魅力あるまちを創っていくことで、米原市に住んでいる人にとっては住み続けたいと思えるまちを、市外の人には行ってみたい、住んでみたいと思えるまちを、米原市に住んでいた人からは、帰りたいと思えるまちを目指します。

(2) 基本目標（政策）

(1) 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり【福祉】

子どもを産み育てることができる環境を整え、未来を担う子どもたちが地域で見守られながら健やかに成長できるまちを目指します。また、地域の支え合いを大切に育て、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される総合的な支援体制を構築し、いつまでも安心していきいきと健やかに暮らせる支え合いのまちづくりを進めます。

(2) とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり【教育・人権】

就学前からつながりある学びの環境が整い、学校(園)、家庭、地域が連携しながら、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むとともに、ふるさとを愛し誇りに思う子どもを育てます。また、生涯を通じて、いつでも、どこでも誰でも学ぶことができる環境と、学びの成果を地域に還元できる学び合いのまちづくりを進めるとともにスポーツ、文化、芸術の振興を図ります。また、お互いに認め合いながら人権を大切にし、多様な主体が共生できるまちづくりを進めます。

(3) 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり【環境・防災】

先人から受け継いできた豊かな自然を次世代に引き継ぐため、人と自然が共生するまちづくりを進めます。また、市民の生命や財産を災害から守り、安心して暮らすことができるよう、自助・共助・公助による助け合いの体制を構築し、地域防災の充実を図るとともに、防犯・交通安全対策および消費者支援など、安心で安全なまちづくりを進めます。

(4) 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり【産業経済】

豊かな自然や魅力ある歴史文化資源を生かしながら発信するとともに、おもてなしを意識した観光を振興するなど交流人口の増加を図ります。また、地域資源を生かした特産品のブランド化、農林水産業の6次産業化や担い手の育成、女性や若者の創業支援など、新たなビジネスや雇用の創出を図り、地域の魅力を磨き生かした、賑わいと活力あふれるまちづくりを進めます。

(5) 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり【都市基盤】

地域の実情に即した効率的で秩序ある土地利用を進め、鉄道駅を核に地域生活の拠点の形成を進め、コンパクトな地域の拠点をつくり、公共交通ネットワークでつなぐ快適な定住環境のまちづくりを進めます。また、市民生活の基礎となる道路網の整備や老朽化橋梁などの計画的な予防保全など、にぎわいと定住環境を支える基盤整備を進めます。

まちづくりを進めるための基盤（都市経営）

総合計画を推進するため、多様な主体とまちづくりに取り組む総働・共創のまちづくりを進め、それぞれの立場から地域の課題解決に取り組む、公的サービスを担っていく、新たな支え合いの仕組みづくりに取り組めます。また、人口減少で低下が懸念される自治力を補うため、地域の個性を大切にしながら、課題や活動をとともにする自治会の枠を超えた組織づくりや、社会の変化に的確に対応できる行財政運営の取組など、総合計画に掲げた施策を推進するため、健全で持続可能な行財政運営を進めます。

(3) 施策目標（施策）

①安心して子育てができ女性や若者が輝くまち（子育て支援）
②地域で支え合い安心して暮らせるまち（地域福祉/生活困窮）
③住みなれた地域で健やかに暮らせる安心長寿のまち（高齢者福祉）
④自分らしく地域で自立した生活を送ることができるまち（障がい福祉）
⑤心と体の健康づくりをみんなで取り組むまち（健康づくり）
⑥いつまでも安心して暮らせる仕組みが整ったまち（保険/医療）

①未来をたくましく生きる子どもを育てるまち（就学前・学校教育）
②地域全体で子どもを守り育てるまち（家庭・学校・地域連携/青少年）
③人と地域を豊かにする学び合いと育ち合いのまち（生涯学習）
④誇りと愛着のある地域文化を守り生かし伝えるまち（歴史文化）
⑤スポーツによって、人と人、地域と地域がつながるまち（スポーツ）
⑥一人一人が尊重され平和を大切にすまち（人権/男女/多文化）

①生命を育む美しい水と豊かな自然を守り育てるまち（自然環境）
②彩りある自然と共生する持続可能な快適環境のまち（生活環境）
③自然や風土と調和した美しい風景を守り伝えるまち（景観）
④みんなで備える命と暮らしを守る安全安心のまち（防災/消防）
⑤暮らしの安心と生活の安全を守るまち（防犯/消費生活/交通安全/上下水道）

①地域資源を磨き生かしたおもてなし観光のまち（観光）
②1次産業の振興と6次産業化でにぎわいを創出するまち（農林水産）
③地域特性と地の利を生かした元気な商工業を創出するまち（商工業）
④多様な働き方、働く場所、働く機会を創出するまち（雇用/労働）

①鉄道駅の機能を生かしたにぎわいのまち（駅周辺活性化）
②コンパクトな地域の拠点をつくり、公共交通ネットワークでつなぐ快適な定住環境のまち（都市計画/公共交通/定住促進）
③快適で安全な暮らしを支える道路交通網が整備されたまち（道路）

①多様な主体による協働のまちづくりの推進（市民協働、新たな支え合いの仕組みづくり）
②効果的な情報発信と情報共有の推進（シティセールス/広報広聴）
③新しい地域の仕組みづくり（自治会支援/小さな拠点・地域自治組織）
④効果的かつ効率的な行政経営の推進（公民連携、公共施設マネジメント）
⑤健全で安定した財政運営の推進（健全財政）